

第1次・第2次拡張事業

(昭和13年度～14年度) (昭和22年度～23年度)

漁港地区への拡張・取水能力の倍増

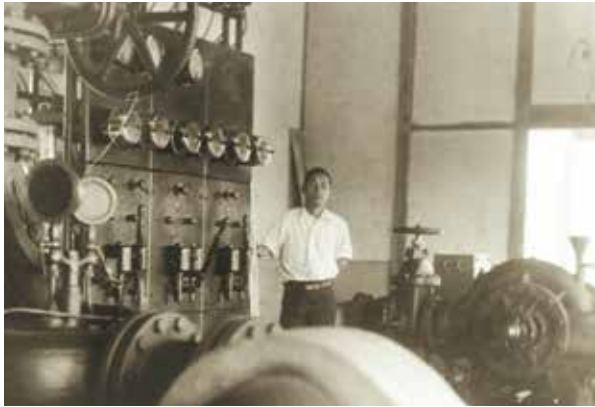
大正4年の通水開始から昭和29年の伊万里市制施行までの約40年間は、拡張事業も小規模でした。

昭和3年、伊万里町と牧島村が合併し、新たに伊万里町となりましたが、牧島地区に対する水道の拡張は行われませんでした。しかし、瀬戸町漁港は、以西底曳網漁業の根拠地として、また水揚港として繁栄していたため水道布設の要望が高く、昭和14年、配水管5,500mを延長したのが第1次拡張事業です。

この拡張では、浄水場からの距離も長く、配水池を2池造り、早里地区に中継ポンプ井を設置し、水圧が落ちることなく、給水ができるように配慮されました。事業費はおよそ8万5千円でした。



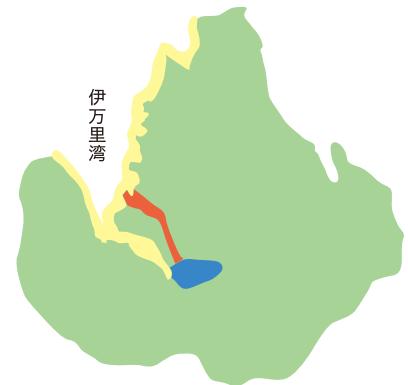
瀬戸町漁港地区



ポンプ室

第2次拡張事業は、人口の増加と水需要の増大に対処すべく、昭和22年12月に事業認可を受け、23年12月に100馬力の揚水機2台を設置し、伊万里川からの取水能力1,200 m^3 を2,300 m^3 に増強した事業で、およそ80万円の事業費がかかりました。

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第1次拡張



今は草木で覆われている漁港の配水施設



第1次拡張事業

計画給水人口	10,000人
計画1日最大配水量	1,250 m^3
計画1日1人給水量	125%
着工年月	昭和14年1月
竣工年月	昭和14年5月
総事業費	85千円